

【発行所】福岡市中央区大手門1丁目4番16号
TEL092-771-2931 西日本鉄道労働組合
【編集発行者】渡辺 裕二
定価 1部 30円 送料共
(この新聞は組合費の中から購読料を徴収しています。)

西鉄組合新聞

16春闘に向け、大手組合間の連帯強化

大手組合職場交流に参加して

2月15日(月)～17日(水)、16春闘態勢の確立と大手組合間の連帯強化を目的とした「第38回大手組合職場交流」が開催され、西鉄労組からは7名が参加。それぞれ関東大手7組合で交流を深めました。

～第38回大手組合職場交流～

- 小田急労組： 穂坂 伸彦(雑餉隈)
- 東武交通労組： 鞭馬 隆行(那珂川)
- 東京地下鉄労組： 坂本 祐介(筑紫乗務)
- 京王電鉄労組： 重松 弘幸(線路技術)
- 京浜急行労組： 待鳥 真那(筑紫乗務)
- 東急労組： 佐伯 和久(国物東日本)
- 京成電鉄労組： 古賀 栄一(組合本部)

第24回参議院議員選挙 組織内候補

みんなで描く地域の未来 みんなの想いを国政に

もりやたかし



この2日間で他労組の方たちとも交流させていただき、現場での問題点や課題等を共有し合い、参考にすることができました。また、「もりやたかし」氏の必勝が、私たちの雇用を守る、すなわち私たちの生活を守るということを確認し、粘り強い取り組みが必要だと感じましたし、同じ気持ちを持った仲間が全国にたくさんいるということが本当に心強



筑紫乗務分会 坂本 祐介

私鉄産別としての連帯と友情を深め、「春闘態勢強化」と「もりやたかし」必勝を確認

私は、東京地下鉄労働組合にお世話になりました。まずは歓迎交流会が東京地下鉄労働組合本部で行われ、高橋執行委員長の歓迎の挨拶に始まり概要や取り組みについての説明があり、意見交換会が行われました。

翌日は、綾瀬工場と総合指令所を見学させていただき、綾瀬工場では工場内の施設も広く作業場もきちんと整理されており、働きやすい職場環境づくりがなされていました。



京急労組で団結を深めた待鳥女性委員(前列中央)



那珂川分会 鞭馬 隆行

「知る」ことの重要性、「国政」に参加する意義を職場に持ち帰り、伝える

最後に、私たちを受け入れて下さった東京地下鉄労働組合の皆様、また主催者の皆様には大変お世話になりました。今回学んだことを職場にしっかり伝え、組合活動に活かしたいと思えます。

私は、関西6組合の方々と、東武交通労働組合を訪問しました。間中バス労組執行委員長は挨拶の中で、1月15日に発生したスキーツアーバス事故に触れ、「バス運転士の厳しい労働実態や規制緩和といった原因究明の動きを注視しながら、安全確保に努めていかなければならぬ」と述べられました。その後、徹夜の交換などを行い、「どうきょうスカイ

ツリー駅から特急スーパーシア号に乗車。1日目を終えました。2日目は、春日部乗務管区、運行指令所を見学しました。乗務管区では宿泊施設を見学し、規則などについて説明を受け、運行指令所では、普段見ることができない全路線を網羅したモニターによる列番の説明や、遅延時に列車同士を連絡させる無線指示などを見ることができました。



国物東日本分会 佐伯 和久

賃金水準の向上、底上げ、底支えに寄与する取り組みを

歓迎の挨拶から始まり、自己紹介が行われました。その後、組合の概要の説明があり短い時間でしたが、議論を行いました。

今回の交流を通じて、東武労組の組合活動や、関西大手組合の取り組みなどを勉強することができ、「知る」ことの重要性、「国政」に参加する意義といったことを職場に持ち帰り、一人でも多くの組合員に伝え、今後の組合活動に活かしていきたいと思えます。貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました。この交流が途絶えることなく今後も継続することを切に願います。

3日目は東京地下鉄労組本部で全体総括会議が行われ、関東地連 木村副委員長の力強い「団結がばね」で閉会しました。最後に、私は兼業部門で、鉄道関係に携わったことがなかったため、初めての経験ばかりでした。職場交流を通じて、東急労組では組合活動が充実していると感じました。

私が概要説明で驚いたことは、保存年次休暇がボランティアア子の学校行事・養育する子の学級閉鎖時の保育のため使用「など、多岐に渡っていることでした。その日は、横浜のみならずみらい地区に宿泊し、他労組の方ともさらなる交流ができました。2日目は、元住吉総合事務所の電車区・車掌区・検車区見学。その後、昼食をとりながらの意見交換を行いました。その中でも驚いたのは、検車区の施設は冷暖房完備で作業されており、関東の鉄道会社の充実した設備に驚きました。

その後、相模鉄道・東急電鉄の相互直通の工事現場の見学に行きました。この工事により横浜西部地区および神奈川県央部と東京都心部との速達性の向上や、広域鉄道ネットワークの形成が図られるをうです。

二子玉川ライズの見学では、二子玉川東地区の開発にあたり、元来有する自然・都心との距離感を活かしながら、長い時間をかけて育まれてきた良好な住環境や商業集積を進展させ、すべての人が安全で安心な街づくりを行いたいという説明を受けました。ただただ感心するばかりでした。

九州地連青年女性協議会 16春闘討論集会開催

開催日：2月16日(火)・17日(水) 場所：泰泉閣ホテル(朝倉市・原鶴温泉)



「九州地連青年女性協議会 16春闘討論集会」が、2月16・17日の2日間、泰泉閣ホテルにて開催され、西鉄労組からは17名が参加しました。

まず、「規制緩和の弊害と私達の労働運動」と題して、九州地連青年女性協議会議長・松下徹氏の講演がありました。講演では、長野県のスキーバス転落事故に触れられ、規制緩和による運賃の過当競争が安全性の低下を招いていると指摘。こうした環境を打破するために、国政に私鉄総連組

織内議員が必要であることから、「もりやたかし氏の当選に向けた取り組みの必要性を強く訴えました。その後、講演のテーマで分散会を実施し、各班で議論を深めました。

「九州青女協16春闘討論集会」に参加して

安全軽視の悪循環を打破するため、もりやたかし氏を国政へ



土井分会
有江 宣宏

今回、初めて16春闘討論集会に参加させていただきました。各県連の青年、女性の方々と交流することができ、若いエネルギーと団結の強さを肌で感じることができました。

また、講座では、規制緩和が貸切バス業界で過当競争を生み、労働者の労働環境の悪化を招き、安全の喪失へとつながったことを知りました。2016年1月の長野県スキーバス転落事故もそれが一つの原因だと思われ、この悪循環を打破するためには、「交通政策のプロ」である組織内候補「もりやたかし」氏の当選が必須であると強く感じました。

バス事業の問題は、鉄道事業にも通じ、安全の重要性を再確認



電気分会
森田 匠亮

講座では、今年1月に発生した長野県のスキーバス転落事故を皮切りに、規制緩和によってバス事業の形態や、過重労働、過当競争によるバス利用料の低価格化が進んだことによる「安全の軽視」や、バス事業に携わる方の環境が劣悪な状態にあることなど、同じ公共交通に携わっていても初めて知ることが多くて驚きました。そういった現状を打破していくためにも「もりやたかし」氏の国政への進出の必要性を改めて確信する良い機会になりました。

分散会では、「安全は一概に言葉で表すことができない。特にバス事業の中では年々変化していく交通環境や気候、会社の雇用体系の変化や料金の変更など様々な要因に対応していかねばならないため、今回のような事故をなくすためには根本から改革していく必要がある」との意見が出され、鉄道事業にも通じるものがあると思うとともに、「安全」の重要性を再度考えさせられました。

バス事業関係の生の声を聞き、様々な問題点を知る機会に



国物西日本分会
玉井 祥絵

九州地連青年女性協議会議長の講義を聴き、バス業界における様々な問題点を目の当たりにしました。特に2000年代初頭に規制緩和となった改正道路運送法などを機に、バス業界は大きな打撃を受けたように感じました。普段の私の業務は、航空貨物の運送手配を行う事務なので、バス事業の情報はほとんど耳に入っていない状況にあります。

初めて討論集会に参加し、実際にバスの運行業務に携わる方々の生の声を聴いた今回の機会は非常に新鮮であり、また、このような様々な悪循環の渦中にある皆さんの職場環境が悪化することに恐怖を覚えました。先日、軽井沢にて発生した貸切スキーバスの事故は、このような状況下で業務にあたる皆さんと隣り合わせに存在している、看過できない問題であり、解決が急務であると感じました。



吉塚分会「餅つき大会」の様子



吉塚分会「餅つき大会」の様子

分會TOPICS

吉塚分会、吉塚分会が「餅つき大会」を開催

吉塚分会では、2月11日(木)、16春闘勝利に向けて「餅つき大会」を開催しました。当日は、組織内議員の「とちぎ義博」福岡市議にもお越しいただき、春闘に向けて組合員の団結を深めました。

また、吉塚分会では、1月10日(日)に「餅つき大会」を開催しました。「とちぎ義博」福岡市議、「佐々木とおる」福岡県議にも駆けつけていただき、大盛況に終わりました。

「第57回私鉄バスのうたごえ・16春闘勝利! 青年女性総決起集会」開催

■開催日:2月24日(水) ■場所:東京日比谷公会堂



「第57回私鉄バスのうたごえ・16春闘勝利! 青年女性総決起集会」が、2月24日、東京日比谷公会堂にて開催されました。総連行事としては最大規模の約1200名が参加し、西鉄労組からは14名が参加しました。

九州地連の構成詩は、西鉄労組が中心となつて5日間という大変短い期間で作成し、23日(火)に、東京地下鉄労組の会議室で初めて各県連の参加者と合流し、最後の練習を行いました。当日は、政治と私たちの職場」と題して、選挙投票率・16春闘にける思い・組織内議員の必要性などについて、合唱やダンスを交えた

青年女性協議会 事務局長 眞名子 盛幸

構成詩を披露しました。緊張で台詞が詰まることももなく、会場を巻き込んだ「団結がんばろう」まで、無事成功しました。

その後、引き続き、「青年女性総決起集会」が開催され、各地連決意表明・シユプレヒコール・闘争宣言案採択・「団結がんばろう」を行った後、日比谷公会堂周辺をデモ行進し、閉会しました。

2泊3日と、あつという間の時間でしたが、西鉄労組だけでなく、九州各県連・沖縄との団結・交流ができ、深い絆が生まれ、参加者にとつても大変良い経験となりました。

「うたごえ」に参加して

団結するために、もつとお互いの職場を知ることが必要



国物西日本分会 石橋 愛理

「団結がんばろう!」、うたごえに参加して一番感動した言葉です。うたごえに参加して、各地連の現状を把握、共有し、団結し合ったことで、私たちの働く環境を改善するために、いかに「もりやたかし」氏を国政に送り込む必要があるかが分かってきました。

今までは、ただ春闘で賃金が上がれば良いなという、他人任せの安易な考えしかありませんでしたが、今回、全国の地連も同じように厳しい状況下にあることを知り、同じ仲間として一緒に闘っていきたくて思いました。また、兼業部門の私にとつては、鉄道やバス部門の職場環境を知ることができた良い機会でした。同じ西鉄で働く組合員として団結することを知ることが必要だと感じました。うたごえに参加することで、団結の大切さを知つて、もつと周りにも広めていきたいと思えました。ありがとうございました。



新たな出会い・経験の連続。政治参加意識を高める



柳川乗務分会 廣松 文貴

私たちは、「うたごえ」を成功に収めるべく、限りある時間の中、全力で練習を行いました。全国での新たな出会い・経験など初めての連続でしたが、そこで学び吸収したことが今現在、自分自身の糧になつていきたいと思います。

仲間との初顔合わせでは、普段関わることのない、様々な世代が垣根を越え、交流を通して良い刺激を受けました。それぞれの業務における問題はもちろんだが、日頃なかなか接することの少ない政治問題は、未来を担う私たち自身にとつて大変重要な問題といつても過言ではないと思えます。そんな問題について考える有意義な時間を仲間と共有することができて、感謝しています。

例えば、駅やバス利用者が快適さを追求するためには、業務に携わつて私たちが声を届けることが最も重要だと思えます。また、政治についても、集団の自衛権の可決にもなつて、最悪の事態が起きた場合、最前線に出ていくのは、自衛隊などに加え、公共交通機関で勤務している私たちだと思えます。そんな私たちの声を率直に届けてもらうためにも、交通運輸産業に精通した「もりやたかし」氏の必勝に向けて、社会人の権利であり義務でもある選挙権行使を果たすべきだと思います。今回参加したこと社会人としてあるべき姿の再認識、業務に

対する士気の高揚を図ることができ、自分自身にとつても、参加した皆さんにとつてもプラスになったことは間違いないと思えます。今後も様々な機会を逃さず、貪欲に学ぶことで、自分自身も一緒に成長していきたいと思えます。

若い組合員にとつて大切な組合の文化活動



片江分会 永松 将行

「うたごえ」には、東京から全国から1200人が結集し、16春闘に向けて共に闘いぬくことを誓い合いました。

各地連ごとに要員不足の問題、日頃の組合活動の取り組みや春闘への意気込みなどを題材にした構成詩を披露し、大きな声援、拍手が巻き起こり、会場全員の連帯感に圧倒されました。うたごえ参加メンバーで顔合わせした時は、正直、本番までに本当に完成するのかと不安でしたが、本番では九州地連らしい、みんなを笑顔にする魅力ある構成詩が披露できたと思えます。

うたごえに参加し、若い組合員が職場の労働環境・要員不足による社会問題などに目を向ける機会となるこのような取り組みは、労組の文化活動として今後も大切にしていくべきだと考えます。また、青年女性総決起集会で図つた意思統一を胸に、職場や私たちの生活を守るために「もりやたかし」を組合員一丸となつて応援していく職場体制を固めることが、私たちの役割だと思えます。全国に私鉄の仲間たちがいることは、これからの組合活動の大きな励みになります。「私鉄の仲間たちよ! 共に頑張ろう!」

九州交通労協 7県交通労協 2016春季生活闘争3・7 決起集会

■開催日:3月7日(月) ■場所:福岡市中央区・須崎公園

九州の仲間が一丸となつて、たたかい抜く!

3月7日、須崎公園において、九交連主催の「2016春季生活闘争勝利3・7決起集会」が開催され、九州各地の交通運輸産業で働く仲間200名以上が集結しました。社会に必要な不可欠な交通運輸産業として、ふさわしい賃金水準の確立を目指し、16春闘を二丸となつてたたかい抜くことを誓い合いました。



自動車部門政策委員視察

岐阜乗合自動車・神姫バスにて連接バスを視察 導入に向けた課題などについて意見交換

福岡市では公共交通を活性化し、街づくりを目標に、「一人に安心、まちに活力、地球にやさしいコンパクトで持続可能なユニバーサル都市・福岡を支える交通」を目指しています。その一環として、福岡市と西鉄では、「天神ビッグバン計画」に基づき、都心循環BRT（連節バス）の導入を進めています。

連節バスの導入については、安全性・定時性を確保しつつ大量輸送の実現が求められている一方、福岡市の交通環境のままでBRTの役割を果たすことは困難だと予測され、BRT構築のためには、自治体・警察・事業者が連携し交通環境の改善が重要です。このような認識のもと、佐田委員長（政策局長）ほか政策委員11名で自動車部門政策委員視察を実施しました。

視察報告

政策委員
那珂川分會 鞭馬 隆行



神姫バス「オレシジアーロー 連 SANDA号」

福岡市と共同で進める連接バスの導入にあたり、安全面をはじめとする運行、運営に関する知識向上などを目的とした視察に参加させていただきました。

1日目は、岐阜乗合自動車に向かいました。まず、連接バス導入の経緯説明があり、岐阜市内の交通体系強化のため、ICカード、バスロケ、PTPSといった取り組みを経て、平成22年度導入に至ったことでした。運行までに苦労した点としては、車両が外国車製であるため、ドライブレコーダーや路肩灯などをオリジナルの規格で製作し取付けを行ったこと、特に天井裏は白色配線が多く配線の見極めなど大変時間を費やしたとのことでした。安全面においては、車内外に9つのカメラが設置され、接続渡り板をはじめ注意喚起を促す表示が多数見受けられました。また、非常扉がないため、車内には複数個のハンマーが常備され、緊急時にはガラスを割って避難しなければならぬことに驚きました。インフラの整備については、バスカット、樹木伐採専用レー



岐阜バス「清流ライナー」

山本 義美

ンとバス停の整備など、国・地方行政・警察との連携・協力が不可欠であるため、整備されるまでに大変時間を費やしたとのことでした。さらに岐阜駅では、バスロータリーとタクシーロータリーが別々で、一般車の進入も規制されており、その広さにも驚きました。西鉄でも導入にあたっては、ハバ化するロータリーを、利用・運行面において福岡市に提言していかねければならないと感じました。2日目の神姫バスの視察においても、路線、運行形態に違いがあるものの、岐阜バスと同様の経緯、問題点があり、取り組みがなされたそうです。今回得た経験を踏まえ、今後の連接バス導入にあたっては、福岡市の公共交通形態を確立するため、政策委員の一員として重く受け止めて取り組みなければならぬと感じました。

平和を守るためにも参議院選挙「もりやたかし」勝利が必要

「家族会学習会」開催
開催日：2月9日(火)
場所：筑紫乗務所会議室

2月9日(火)、筑紫乗務所会議室において、「家族会学習会」を開催しました。冒頭、緒方副委員長より、「本年は平和に重点を置き、学習を深めていきたい。平和を守るために私たちができることを考え、未来の子供たちに引き継がなくてはならない。したがって、安倍政権の平和を脅かす政治に待ったをかける意味でも、今度の参議院選挙は重要な闘いとなる」と挨拶があり、講座に入りました。



講座

- 第1講座：「人事賃金制度改定について」古賀組織部長
- 第2講座：「参議院選挙（もりやたかし）の取り組み」緒方副委員長

クルーズ船増加による渋滞対策を!

「とちぎ義博」市議、**早急な駐車場整備を要求**

西鉄労組組織内議員「とちぎ義博」福岡市議は、3月7日の市議会にて、クルーズ船増加にともなう、観光バスが引き起こす渋滞対策として、観光地の駐車場整備などを改めて要求しました。

とちぎ市議は、「クルーズ観光客による経済効果で駐車場整備の費用回収は十分可能。特に、福岡タワー周辺の公有地については、早急に駐車場として整備すべき」などと、対策が不十分であることを指摘。これに対して、福岡市は、「交通指導員の配置など、ソフト対策の効果を見極めながら、検討を進めていく」という回答がなされました。

「とちぎ義博」市議は、私たちが働きやすくなる環境整備のために、私たちの声を市議会に届けています。今後とも、「とちぎ義博」市議に対するご支援をよろしくお願いします。



クルーズ船の観光バス渋滞解消、土砂災害対策と避難所の見直し

福岡市長に強く求めました!

※質疑応答の詳細は、「とちぎ義博」市議のホームページに掲載されています。